



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会  
2020年度 活動団体応援プログラム 活動報告書  
〔北秋田市遊び発見プレーパーク PLAY park KiTa〕  
(秋田県北秋田市)

【団体紹介 HP】 <https://bouken-asobiba.org/play/asobiba-235.html>

### 1年間の活動の概要

- ・今年度はコロナ禍の活動制限からはじまり、コロナ対策として消毒、検温、マスク着用などの処置をとり、今年だから仕方ないではなく、新しい生活様式にのっとり活動をつづけました。
- Aー県主催イベント里地里山プロジェクトの企画に声をかけていただき、野外での活動として農業の現場で作物にふれ、食し、異世代交流をしました。(8月開催)
- Bー子どもからは始めるお金の話の流行に乗り、「子ども商店」を100年以上続くごじょうめ朝市の露店で、本物の店をひらき、物づくりと働くことについて親子で考えました。(7月9月10月開催)
- Cー「国土緑化機構」&「ファミリーマート」主催の植樹祭に運営スタッフとして参加し、鳥の巣箱作りや設置、植樹と貴重な体験をさせていただきました。(11月開催)
- Dー県関連助成金をつかってコロナでこまっている食堂、お店の余っている食材や資材をつかって、子供のどこへもいけないストレス発散と、その親の救済のために「子ども食堂」を開店するという事で支援スタッフとして参加しました。今では、「子ども食堂作戦会議」として、現役子育てママ会員7名(+3名予定)で活動を計画しています。(9月11月12月開催、1月2月開催予定)

### 次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・北秋田市で子育てイベントを中心に市民団体として何十年も活動している某団体の意志を勉強したい。この団体を立ち上げる時に相談していた団体はやはり偉大な団体でした。今後も、この団体の意志を現役子育て世代に伝えていくお手伝いができればと思っています。
- Eー北秋田市の直木賞作家、渡辺喜恵子の思いを「みちのく子ども風土記」の世界を、今も残る「要のはらっぱ」でこれからの北秋田市をせおう子供たちに伝えていきたい。
- Fー「子ども食堂」を定期的に開催し、こどもの食育と異世代交流をしていきたい。
- Gー子どもと大人の自己肯定感の向上のため「子ども商店」を企画し、働くとは(物づくりとは、自分の役割とは)、お金とはと、一緒に成長していけるイベントを考える。

今年度もたくさんの方の支援をいただき、参加していただいた方に助けられ、3年の節目をむかえました。次年度も成長していきたいとおもいますのでご支援よろしく願いいたします。



▲子ども食堂



▲子ども商店(2019年7月・12月開催)

【応援メッセージ】多くの制約がある中で、悩みながらも新たな展開を模索されている様子が伝わってきました。このような時だからこそ団体の垣根を超え「北秋田のまち」をつくっていききたいですね。落ち着いたら遊びに行きます！ 理事 久米隼

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち(協会)が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会HP】 <https://bouken-asobiba.org>